



## ～回復期リハビリテーション病棟 大運動会～

当院の回復期リハビリテーション病棟では、リハビリの一環として、リハビリスタッフと病棟スタッフが共同で計画をし、偶数月にレクリエーション（＝レクリエーションリハビリ）を取り入れています。今回は、6月22日に病棟ホールにて大運動会が盛大に開催された様子をお伝えします。

選手宣誓！



♪応援合戦♪



大運動会は入院患者さんと共に、リハビリスタッフ、病棟スタッフが紅白に分かれて競技を行いました。

当日は、石橋院長の開会のあいさつから始まり、患者さんお二人による選手宣誓のあと、今年から取り入れた紅白応援合戦で幕を開けました。紅白各組の団長の掛け声のもと、力強い応援合戦が繰り広げられ、会場は一気にヒートアップ！熱気ムードのなか、『玉入れ』『綱引き』『スタッフによるムカデ競争』『ピンポン玉競争』『徒競走』と行われました。

紅白両者譲らぬ攻防で、スタッフのハプニングには楽しそうな笑顔も見せながら、また、ピンポン玉競争、徒競走では周囲の応援に助けられ、一生懸命ゴールテープを切りました。

●玉入れ●



今回は見事、白組の優勝！  
紅組は早速、来年のリベンジを誓っていました。

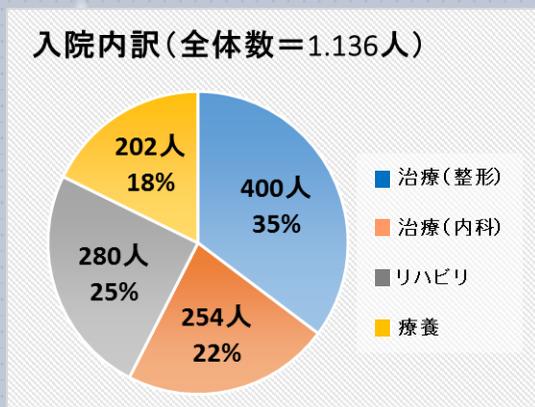
回復期リハビリテーション病棟では、今後も患者さんやご家族が楽しめるレクリエーションを企画・運営していく予定ですので、お楽しみに！



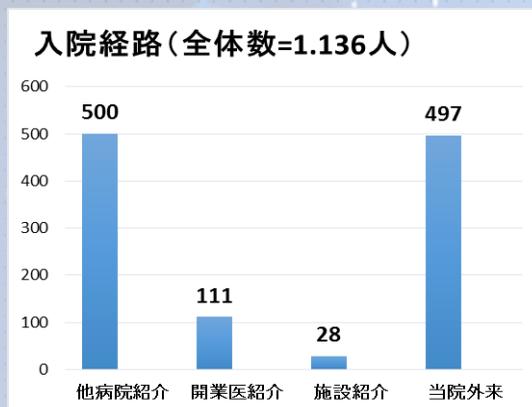
## ～地域医療連携室 から～

今月号では昨年（H28.1.1～H28.12.31）当院に入院された患者さんの入院目的及び入院経路についてご紹介したいと思います。

【図1 入院目的】



【図2 入院経路】



※図1の入院目的を見ますと、内科・整形合わせて半数以上が「治療目的」となっております。また、「リハビリ目的」の内訳としては、整形手術後や急性期治療後の患者さんが多く入院されておりました。

※図2の入院経路では、他病院からの紹介と当院外来からの入院経路がほぼ同じ割合となっております。なお、他病院から紹介された患者さんの多くは急性期病院からで、当院の外来では手術加療や安静加療目的での整形患者さんの入院が多い状況となっております。

以上のことから、当院の地域における役割として、整形外科は手術加療等の急性期治療や手術後のリハビリを行う病院として、内科は急性期病院の後方支援を担っていることが伺えると思います。

来月号では退院患者数や退院先等に関する情報をお伝えしたいと思います。

## ～訪問看護ステーションふかや から～

当ステーションは、所長1名、看護師・准看護師8名、理学療法士1名の10名体制で運営しております。

日々の健康状態の観察、在宅療養上の相談・支援・アドバイス、主治医との連携、医療管理・処置、ご家族さんの支援、ターミナルケア、リハビリテーション等を提供しております。

住み慣れた自宅や地域で、安心して生活を送っていただくために、利用者さんとそのご家族さんの意思を大切に、信頼、安心なケア及びリハビリテーションを提供してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

訪問看護についてのお問合せ先：0225-73-5331